



# 小川駐在所だより

～令和7年8月号～

那珂川警察署 : 92-0110  
小川駐在所 : 96-2064

## ◆ 夏期における水難事故・山岳遭難防止について ◆

### 栃木県内の水難事故発生状況

#### ○令和6年中の水難事故発生状況

- ・令和6年中は、5件5人（うち5人死亡）の水難事故が発生しました。
- ・年齢層別では50歳以上の方が3件3人、場所別では河川が5件5人、行為別では魚とり・釣りが4件4人で、それぞれ最多となっています。



#### ○夏期における水難事故の特徴

- ・夏の時期は水に親しむ機会が増えるため、県内では河川における魚とり・釣り中や水遊び中の事故が多発する傾向にあります。
- ・川の上流で大雨が降ると、雨の降っていない下流でも急に流れが速くなることや増水することがあります。

### 栃木県内の山岳遭難発生状況

#### ○令和6年中の山岳遭難発生状況

- ・令和6年中は、58件63人（うち7人死亡）の山岳遭難が発生しました。
- ・年齢層別では40歳以上の方が8割強、態様別では、転倒、道迷い、滑落の3類型で8割強を占めています。
- ・遭難者の多くが登山計画書を提出していませんでした。



#### ○夏山登山における遭難の特徴

- ・7月から8月の夏山シーズンは、8件8人が遭難し、原因は転倒、滑落、道迷い、病気（腰痛）でした。
- ・夏山は軽装で入山する方が増加するため、滑落や転倒をした際に大きな怪我につながる、急な雨で体が冷えて低体温症になる、気温の上昇により熱中症になるなどのケースが増加します。

#### ◎対策について◎

どれだけ注意喚起をしても、川と山の事故は毎年発生しています。基本的な対策については、ご理解頂いていると思いますから、「川と山」を甘く見ないことが何よりも重要です。子供たちが夏休み期間に入り、お子様が保護者なしで行動する機会も多いはずですが、大人と違い、子供は危機管理能力が低く、過信する傾向があります。保護者の方は、お子様への具体的な指導を徹底しましょう。

## ◆ 管内情勢、お盆中の盗難被害防止等について ◆

- 7月中は、小川駐在所管内で、草刈り機（歩行型）が盗まれる被害がありました。農機具が盗まれる被害は、今年に入り町内で何度も発生しています。鉄くず等の換金できる物も含め、見える場所に置かない、シートを被せる等のできる対策をお願いします。
- お盆中の帰省等で、数日間留守になる家庭も多いと思います。空き巣が増える時期でもありますので、施錠と貴重品の管理の徹底をお願いします。在宅を装って電気を点けておくこと等も有効な手段の1つです。防犯カメラ等も一昔前に比べれば種類も増え、比較的安価になっていますので、この機会に設置のご検討をしてみてください。